

令和2年8月7日

保護者の皆様へ

鈴鹿工業高等専門学校長 竹 茂 求

分散による対面授業の再開とご家庭でのコロナウイルス感染症対策について（お願い）

本校では、5月7日より遠隔による授業を行って参りました。当初は、衛生管理に必要な消毒液が揃わない、学生寮の個室化に必要な工事や管理体制が整わないなど、学生の安全の確保が困難であったためです。しかしながら、遠隔の授業では高専教育に欠かせない実験等の実践的教育が十分に行えないこと、登校の再開を希望する学生の声もあること、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で学校運営を継続するという文部科学省の指針にも基づき、一刻も早い対面授業の再開を目指し、コロナ禍での新しい生活様式に沿った授業方法や衛生管理を模索して参りました。現在、始業時間の変更や1クラスあたり2教室での授業実施など、その体制が整ったことにより、8月17日より分散による対面授業を開始することにいたしました。

昨今の三重県の状況は三重大学や四日市市内での感染を初めとして予断を許さない状況ではありますし、対面授業の再開が不安との声も一部の方から頂いております。三重県の感染の多くは感染経路が判明していることもあり、今現在は対面授業が実施できると判断いたしておりますが、状況に応じ、遠隔での授業に移行する可能性があることを申し添えます。

保護者の皆様におかれましては、何卒この趣旨をご理解頂き、本校の教育・研究活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、学生の皆さんには学校からの指導も行いますが、学生が学校生活を安心・安全に楽しく送れるような環境を維持していくためには保護者の皆様のご協力が不可欠となります。保護者の皆様方におかれましては、授業開始後の学生の行動も踏まえた新型コロナウイルス感染症対策として、ご家庭で実施していただきたい下記の点につきまして、ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

記

1. 規則正しい生活と朝の検温について

感染を予防するためには、規則正しい生活が重要です。きちんとした睡眠をとる、食事をとるなど、健康を維持するうえでもご家庭での協力が必要不可欠となります。

また、「起床後は検温」を行い、万一、発熱や体調不良の場合は、登校させないご協力ともに学校への連絡をお願いします。（連絡先：059-368-1731（学生課教務係））

2. マスクの装着およびハンカチ・タオル類の持参について

学校内では体育の授業等を除き、健康上の理由がない限り「マスクを装着」していただきます。市販のもの、手作りのもの、種類は問いませんので装着させるようにしてください。

フェイスシールドは、希望者は各自で装着していただいて構いません。一部の実験で装着していただくことがあります、その際は学校でご用意いたします。

学校内ではアルコール消毒液や石鹸などでのこまめな手洗いを行うことにしていますので、清潔なハンカチやタオルなどの持参もよろしく願いいたします。手が荒れやすい等ありましたら、ハンドクリーム等も併せてご持参くださって結構です。

3. ゴミ袋の持参について

ウイルス感染の防止及び教室内の衛生向上の観点から、「教室内のゴミ箱を撤去」いたします。従前は、お菓子の袋や弁当ガラ、鼻をかんだティッシュなどを教室のゴミ箱に投棄し、当番の学生等がまとめてゴミ集積所に運んでいましたが、「各自でゴミ袋を用意し、処理」をお願いする次第です。ゴミ袋は学内要所に設けたゴミステーションに投棄できますことを申し添えます。

4. 帰宅直後の手洗いの実施について

感染予防として手洗いは重要です。ご家庭におかれましても帰宅直後などの手洗いの徹底をお願いします。

5. 新型コロナウイルス感染症が気がかりな場合について

新型コロナウイルス感染症は未だ解明されていない部分が多い状況ですが、基礎疾患等があれば重症化するリスクが高いと言われております。そのような学生につきましては、学生の主治医の見解を保護者に確認の上、学校医の見解も交えて個別に登校の判断を行いますので、該当される方はご連絡くださいようお願いいたします。なお、登校が困難と判断される場合は、自宅で遠隔授業を受講していただくこととなります。

また、感染が不安で登校させたくないという気持ちの保護者の方もいらっしゃると思いますが、学校といたしましては、政府が提唱する新しい生活様式に基づき、必要な衛生措置を講じていることを申し上げます。

なお学校では、地域の感染状況や三重県からの指導により、万が一感染の危険が迫るような状況になりましたら、5月来行って参りました遠隔による授業に移行しますことを申し添えます。

以上

この件に関しての連絡先
学生課教務係
059-368-1731